

# 豊松苑新聞

介護老人  
保健施設  
豊松苑  
電話(083)  
259-7381



3月28日、深坂の森に花見ドライブに行きました。直前の寒の戻りのため残念ながら桜は3分咲きくらいでしたが、参加された皆さんはとても喜ばれて、桜を見て涙を流す利用者さんもありました。春の心地良い風の中、桜以外にもタンポポを見たり、遊んでいる子供たちを見たりしながら、昔話にも花を咲かせていました。

車椅子で坂を登っていると、花見に来ていた方がお手伝いしてくださったり、そこで新たな交流が生まれ、思いやりと人のつながりを感じる場面でした。帰りの車内でも会話が盛り上がり、より一層の良さが深まったようです。来年こそは満開の桜を観に行けるといいですね。



## 新導入！ 設備紹介



施設敷地内にADL訓練室を設け、豊松苑リハビリ機能の更なる充足を図っています。ADLとは日常生活活動のこと、食事・排泄・入浴など誰もが当たり前に行っている活動を意味します。加齢や疾病に伴う身体機能や認知機能の低下により、生活活動がこれまでのように行えなくなるのが在宅生活の一番の問題となります。ADL訓練室では、低下した生活活動能力の再獲得を目的とした訓練はもとより、調理・掃除・洗濯など生活には欠かせない活動も実施していきます。

また、ご家族向けの介護教室も行っています。自宅に近い環境で行うことで自宅に受け入れる際の課題もわかりやすくなります。

訓練室や内容に興味のある方は理学療法士・作業療法士が説明しますので、お気軽にお申し出ください！これからも皆さんの在宅生活を支えていけるように、設備やサービスの充足を図ってまいります。



### 第28話

## すたっふの ○○○な話

リレー28人目は、介護職員の新西岡昌俊さんからの指名で、看護師長の多賀清志さんです。



平成29年9月より豊松苑に勤務となり、早1年半が経ちました。気がついてみると、もう62歳となり、若い頃とは違い身体にムチを打たないと動きも悪いようです。

多賀家は6人家族で、義母と一緒に暮らしているのですが、マスオさん状態。緩衝材となってくれているのが3人の子ども達で、ちよつと太めの長男が今年から社会人になり(自立できるかなあ...)、目に入れても痛くない可愛い可愛い二人目の長女は来年度成人式を迎え(心の準備が...)、イケメンサッカー高校生の末っ子(誰に似た?)となってます。いずれ独り立ちしていくとはいえ、まだまだ自分が頑張ってる感はなく、ちよつと自分にかかっている今日この頃です。

新時代「令和」になりましたが、今後とも豊松苑と多賀家をよろしくお願い致します。

次回は  
介護職員  
の  
森岡さんです。



こうみえて、私、ビビビ婚です。 清志

新企画

# 委員会活動報告

豊松苑にはさまざまな委員会があります。どの委員会がどんな活動をしているのかを皆さんに紹介していきます！

## 褥瘡対策委員会

褥瘡(じよくそう)対策委員会の取り組みは、褥瘡(床ずれ)を作らない対策を講じることです。床ずれと聞くと、寝たきりに人になるものというイメージが強いかもしれませんが、健康な方でも、座りっぱなしになるとお尻に圧がかかりすぎて赤くなってしまうことがあり、これが褥瘡の初期段階になります。

委員会では主に予防対策に力を入れており、個々に適した環境設定(クッション等の使用)や運動機会の提供等を提案していきます。クッション購入は個人負担となってしまうますが、専門的な見地からご家族への助言等も行っています。

褥瘡対策委員会  
テーマ  
「動けない苦痛を感じさせない支援」



## 1月~4月 生まれの みなさま



お誕生日おめでとうございます♪

### 行事予定



6月

運動会



7月

七夕会



8月

夏祭り



9月

敬老会

### ~ご家族へのメッセージ~